



令和3年度 植田東中学校だより No.23

2022/3/11

HIGASHI

発行者

校長 西内英理

卒業生の皆さん！ありがとう！！

63名の卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。この義務教育9年間で、身も心も大きく、そして確実に成長しました。

新型コロナウイルス感染症のために、学校は昨年度から様々な制約を受けました。そんな中でも、限られた条件・状況の中で、いかに工夫して学校行事や生徒会活動を盛り上げるか、どのようにして成果を上げるかなどに、努力を重ね、結果を残してくれました。

この令和3年度、皆さんが最上級生として引っ張ってくれた植田東中、とても素晴らしい1年になりました。卒業生の皆さん、本当にありがとうございました。



〔 ↑ 1組

1年生春の遠足の時

2組 ↑ 〕

【 卒業式の式辞の中で卒業生に望んだ3つのこと 】

(1) 「常に自分を高めようとする意識を持つ」

これまで「成長」のために「自己マネジメント」が大切であることは何度も話してきた。目標設定、達成のための努力、振り返り、修正と努力の継続…。これらを繰り返してひとつひとつの目標をクリアし、成長を続けていってほしい。もちろん、目標達成のために努力を重ねる強い意志が必要であることも忘れてはならない。常に自分を高めようとする意欲を忘れず、夢や希望の実現に向けてしっかりと自分を磨いていってほしい。

(2) 「人の『痛み』を分かる」

私たちは、周囲の人の「体の痛み」には気づきやすいが、「心の痛み」にはなかなか気がつかないことが多い。他人の「心の痛み」を知るためには、周囲の状況に常に気を配り、他人の変化変容に気づく力を持つとともに、人々のいろいろな意見を尊重しながら思いやりを持って接することが大切。そうすることで、社会の中で自分の存在意義が増し、自分が活かされることにつながる。

(3) 「感謝の心を忘れない」

感謝の心は、自分自身はもちろん周囲の人達の心を豊かにし、人間関係を広げてくれる。人はひとりでは生きていけない。これまでの出会い、これからの出会いを大切に、感謝する心、感謝を素直に表現する気持ちを忘れないでほしい。